

# User Interview

(株)アーバン利根 施工本部 部長 大原 順一氏

今回は、全国の基礎工事で、ロータリー掘削工法、パーカッション掘削工法、ケーシング回転掘削工法を用いて、大口径岩盤削孔工事で、幅広くご活躍されている、(株)アーバン利根の施工本部大原部長を訪ねて、インタビューを行いました。



大原 順一氏

記者：貴社で施工されている、岩盤削孔工法の概要をお聞かせください。

大原：当社は、ダウンザホールハンマ工法に分類されるMACH工法を中心に施工を行っています。施工に当っては、ベースマシンとしてTBH(トップドライブ式リバー)機やMPD(マルチドライブパイルドライバ)機を使用して施工を行っています。

同機は低空頭で狭隘な施工条件下で施工可能な機械で、通常はリバー機として現在は駅の改良工事や作業帯が制約された道路上等、大型機が配置できない場所で幅広く採用されています。

また、上部の一般土層はサクシオンポンプを使用してリバーで削孔し、着岩したらMACHに切り替えて施工を行う事も可能です。

記者：MACH工法の特長をお聞かせください。

大原：MACH工法の特長は、ビット荷重が少なくよいため、小型な設備で施工が可能であり、仮設コストなどが大幅に低減できる。排気ラインが独立しているため、帯水層や水中でも深度の影響なく削孔できる。掘削速度がきわめて速い。湿式方式により孔内水頭圧を利用した孔壁の保護が可能です。エアによるカッティングスの排出を行わないので、地層に応じてハンマの打撃力を任意に調整で

きる。粉塵の発生が皆無であると同時に、排気中に含まれる油分の飛散も防止できるので低公害な施工を実現できる。

記者：今後の岩盤削孔技術に聞し、ご意見をお聞かせください。

大原：当社は今まで、基礎杭の施工ではリバーを主体として営業して参りましたが、今年度はケーシング回転掘削機で海外工事をすでに受注しました。

この工事は、日本の大手ゼネコンが受注したアルジェリア国での高遠道建設工事で、約1300本の基礎杭を施工予定です。

ケーシング回転掘削機4台、付随する重機、資機材等を8月に船積みしました。国内では経験の少ない試験杭の施工、載荷試験、ソニックテストなどの品質管理も行っての施工です。

海外工事においては品質管理や作業環境など国内とは大きな違いもありますが、今まで培った技術と経験で他国業者に負けないよう施工を進めて行く考えです。

記者：岩盤削孔技術も含め、施工担当から見た今後の「展望」をお聞かせください。

大原：国内の公共工事が年々減少している中、当社は当社の子会社であるSIAM TONE(サイアムトネ タイ国)と共同で今後海外工事へも営業を展開して行きたいと考えております。

記者：お忙しいところありがとうございます。今後の貴社のますますのご活躍をお祈りいたします。

((株)アーバン利根 山本茂樹)

MY TOWN

見どころ食べ処

— 大阪編 —

【大阪の景観と料理】

各地にはご当地と呼ばれる有名な食材やお店があるといます。弊社岡田組は、大阪市港区に事務所を構え早60年あまり(創業63年)。その間地元大阪を根拠地とし様々な地域で土木・建築工事で御世話に成ってまいりました。お陰様でこの地では地元のご当地業者として漸く知られる様になってきました。

私も幼少の時より地元大阪で生まれ育ち地元の有名どころや地元の味に親しんできましたが、今回ご案内する弊社の周辺には天保山と言う日本一低い山が御座います。山ではないという方もおられますが、『天保山二等三角点』が設置されており標高4.53mの山?なのか戸惑いに似た実感を御得いただくことが可能です。近くにある

喫茶店「山小屋」では登山証明書なるものも発行されており関西人(大阪人)の面白さも味わって戴けると思ます。またこの近くには遊覧船や水族館『海遊館』もあり大人から子供まで1日ゆっくと楽しむことが可能です。

さて食のご案内ですが、大阪と言えば、お好み焼き、たこ焼き、河豚、焼き肉などの食事を連想されるのではないのでしょうか?私のご案内するこのお店「ふる里」は今年で創業29年。地元の杭屋さんである弊社同様、安く魚を食べさせる老舗の『伊勢鍋』の店として知らない人はいないほどになっています。

伊勢鍋は、野菜中心に豪快に伊勢エビを丸一匹潰して入れる鍋。みそ仕立てとポン酢とを選べますが、食べ方はお